

玉鋼を

A Sawsmith Who Forged Tama-hagane Steel

鍛えた鋸鍛冶

宮野 鉄之助

MIYANO TETSUNOSUKE

2020年10月10日(土)~12月13日(日)

竹中大工道具館1Fホール

主催/竹中大工道具館

開館時間/9時30分~16時30分(入館は16時まで)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、開館時間を変更している場合があります。
最新情報を竹中大工道具館ウェブサイトにてご確認ください。

休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料/一般500円・大高生300円・中学生以下無料・65歳以上の方200円 ※常設展観覧料含む

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM



公益財団法人竹中大工道具館

玉鋼を鍛えた鋸鍛冶

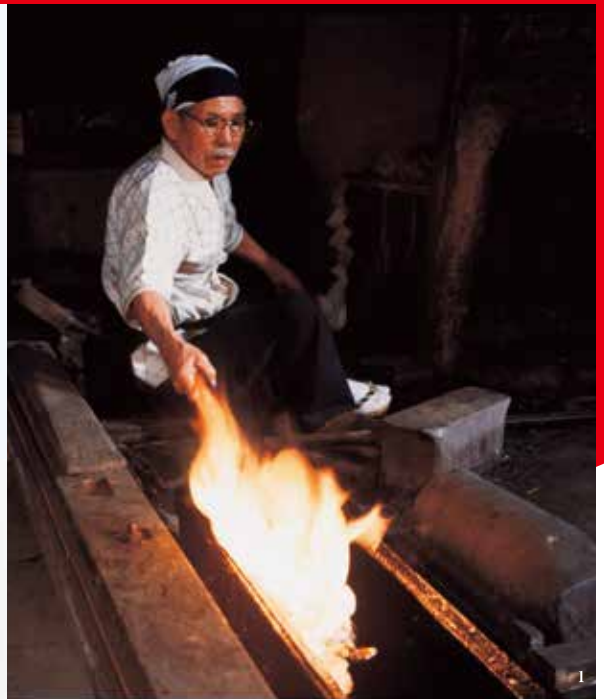
宮野鉄之助

兵庫県三木市の鋸鍛冶、二代目宮野鉄之助(1901~96)は玉鋼を使って鋸を作ることができた数少ない鋸鍛冶の一人でした。玉鋼とは、日本古来のたたら製鉄で精錬された鋼です。江戸時代の鋼は全て玉鋼でしたが、輸入鋼材の普及にともない、明治以降は次第に使われなくなっていきました。しかし刀鍛冶の家系に生まれた鉄之助は、戦後も玉鋼を使った鋸を作り続けます。そこには刀匠の技術に裏打ちされた、鋼を自在にあやつる匠の技がありました。本企画展ではその技術と作品の数々を紹介いたします。



PROFILE

二代目宮野鉄之助(1901~96)本名遠藤政一郎。字は朝也。四方斎と号した。兵庫県三木市に生まれ、13歳で家業の鋸鍛冶の道に入り、初代宮野鉄之助に師事。昭和13年(1938)に二代目を襲名し、鋸製作の第一人者となる。書画にも秀で、日本刀の刀匠としても活躍した。



- 1.鋸の焼き入れをする宮野鉄之助
 - 2.フイゴ:宮野鉄之助使用品
 - 3.ゼチメン(裁断器):宮野鉄之助使用品
 - 4.千代鶴是秀作鮑刀「嵯峨の秋」と宮野鉄之助作押え刃「玉ゆら」
 - 5.胴付鋸「東離の秋」
 - 6.両刃鋸「十六夜の月」
 - 7.ガガリ
 - 8.挽切
 - 9.畔挽鋸「ひきよせてくめば」「のだての ゆるりかな」
 - 10.日本刀:1970年に三木市大宮八幡宮に奉納した品
- 5~10.はすべて宮野鉄之助作

EVENT

「技と心」セミナー[99]

三木の鋸鍛冶が語る 鋸の歴史から使い方まで

日時 / 2020年11月22日(日)13:30 ~ 15:00(13:00開場)

場所 / 神戸芸術センター会議室(神戸市中央区熊内橋通7-1-13)

講師 / 光川大造(鋸鍛冶・カネジュン) 定員 / 50名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

参加費 / 無料(竹中大工道具館入館の場合、別途入館料が必要)

申込締切 / 10月31日(土)必着

※イベントは状況により変更または中止になることがあります。

最新の情報は「宮野鉄之助 玉鋼を鍛えた鋸鍛冶」展公式ウェブサイトにてご確認ください。

申し込み方法

ウェブサイトまたは往復はがきに下記事項をご記入の上お申し込みください。

■ウェブサイト

公式サイト(https://www.dougukan.jp/special_exhibition/tetsunosuke)内よりお申し込みください。

■はがき

[往信用裏面]①イベント名 ②参加者氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤年齢

[返信用表面]宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。裏面は未記入のこと。

[申込み先]〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。 ※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。



ACCESS

山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分
市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分
シティ・ループ「12新神戸駅前(2F)」下車徒歩約3分
神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分

公益財団法人

竹中大工道具館

神戸市中央区熊内町7-5-1 TEL.078-242-0216
<http://dougukan.jp>

